

鉄砲とキリスト教の伝来

^{てっぽう}
鉄砲…1543年，**種子島**に流れついたポルトガル人によって伝えられた。

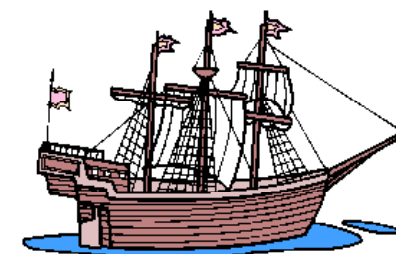


キリスト教…1549年，^{かごしま}鹿児島に來航したスペインの^{せんきょうし}宣教師，**フランシスコ＝ザビエル**によって伝えられた。



★ 16世紀中ごろに伝わったこと，ヨーロッパ人によって伝えられたこと，九州南部に上陸したことなど，共通点が多い。

★ このころ，外国と貿易をしたがっていたヨーロッパの国々は，**新しい航路をさがして**は，さかんに海外の新世界へと乗り出していった。
日本へは，東南アジアのほうから北上してやってきた。



戦国大名の領地の治め方

戦国大名の政治^{まつりごと}

富国強兵

^{ねんぐ}
年貢のとりたて
をきびしくし、
農業を発達させて財
政を豊かにした。

また、武力の強
化に努めた。



城下町づくり^{じょうかまち}

領地に^{しろ}
城を築
き、そのまわり
に、武士・職人
・農民を集めて
住まわせた。



分国法

領内の武士や
農民を支配する
ための^{ほうりつ}
法律をつ
くった。

天下統一まで

- 戦国大名は、城を築き、まわりに家来の武士や職人などを集めて住まわせて城下町をつくった。



- ポルトガル人によって鉄砲が伝えられた。また、スペイン人のフランシスコ＝ザビエルがキリスト教を伝えた。



- 京都にのぼった織田信長は、1573年に室町幕府をほろぼした。



- 明智光秀を討った豊臣秀吉は、大阪城を根拠地として、全国統一を進め、1590年に北条氏をほろぼして統一を達成した。



織田信長と豊臣秀吉の事業



織田信長の統一

1560年

おけはざま

桶狭間の戦いで今川氏を破り，東海地方の一大勢力となる

1571年

ひえいざんえんりやくじ

比叡山延暦寺を焼きはらい，仏教勢力をおさえる

1573年

むろまちばくふ

室町幕府をほろぼす

1575年

ながしの

てっぽうたい
長篠の戦いで鉄砲隊を使う

・楽市・楽座

あづちじょうちくじょう
・安土城築城

・キリスト教保護

豊臣秀吉の全国統一

1582年

あけちみつひでう

信長をたおした明智光秀を討つ

1585年

だじょうだいじん

関白となる(1586年には，太政大臣となる)

1590年

北条氏を破り，全国統一

1592年・1597年

ちょうせん

朝鮮に兵を送る

おおさかじょう

・大阪城をつくる

・検地

かたなが

・刀狩り

・キリスト教禁止

安土桃山時代の文化の特色

★ 安土^{ももやま}桃山時代の文化は、天守閣^{てんしゅかく}で代表されるゆう大で豪華^{ごうか}な文化

この文化をつくり出すもとになったのは……

- 新しく起こった大名のエネルギー
- 富国強兵^{さく}策で発達してきた大商人
- 下剋上^{げ こくじょう}の自由で活気に満ちたふんい気
- ポルトガル人やスペイン人のもたらした外国文化
- 仏教からはなれたこと



江戸時代のはじまり



徳川家康

- 徳川家康は豊臣氏に味方する大名の軍を関ヶ原の戦いで破り、1603年に江戸に幕府を開いた。
- 大名は、徳川氏の一族の親藩と、古くから徳川氏に仕えていた譜代と、関ヶ原の戦いののちに徳川氏に仕えた外様とに、分けられた。
- 士農工商のきびしい身分制度ができ、武士の特権が認められた。
- 九州の天草・島原地方で島原の乱がおこったあと、幕府はキリスト教の禁止を徹底させるなどの理由から、鎖国を行った。

江戸時代のはじめのできごと

◆ 江戸幕府は、以下のようにして確立していった。

1600	関ヶ原の戦い	徳川が勝ち、徳川家康が征夷大將軍となる。
1603	江戸幕府が開かれる	キリスト教の平等の教えは、上下関係を重んじる幕府の方針に合わない。
1612	キリスト教禁止	
1615	豊臣氏がほろびる	幕府は、大名の出費をふやそうとした。行き来の多い街道が栄える。
1635	参勤交代の制度が定められる	
1639	鎖国が完成する	キリスト教を布教しないオランダと中国だけが、貿易を許された。ただひとつ貿易港の出島は、幕府が直接治め、利益をひとりじめにした。

大名のとりしまりと鎖国

◆ 大名のとりしまりと鎖国は、幕府を守るための重要な政策だった。

一、学問と武芸にはげむこと
一、新しく城を築いてはいけない

これらのきまりは、武家諸法度で定められ、これによって、大名はきびしくとりしまられていた。

2代将軍秀忠が最初に出したのが、1615年(大阪夏の陣がおこった年)。

3代将軍家光は1635年新たに参勤交代の制度をととり決めた。

◆ 鎖国までの流れ

幕府は、キリスト教が入るのをおさえ、貿易を独占しようとした。

1612 キリスト教の禁止

1616 貿易港を長崎と平戸に限定

1624 スペインとの貿易を禁止

1629 ふみ絵を始める

1637 島原の乱

1639 ポルトガル人の来航を禁止し、鎖国が完成する

1641 オランダ人を出島に移す



鎖国のもくでき (1)

- ◆ 江戸幕府えどばくふのしくみを確立し，幕府ばくふの安定を保つため，鎖国政策さこくせいさくがとられた。鎖国さこくをした大きな目的は次のようなことだった。

目的その① キリシト教が入るのをおさえる

- 幕府ばくふは，武士と他の階級との身分差をはっきりさせ，上下関係を重んじた。だから，平等を説くキリシト教が広まるのは，つごうが悪い。
- 教えを広める宣教師せんきょうしは，貿易船に乗ってやってきたから，布教を防ぐには，貿易をやめなければいけない。それで，幕府ばくふは，諸外国しょがいこくとの交流を絶った。
- ただし，オランダと中国しん（清）は布教活動を行わなかったので，貿易を続けた。



鎖国のもくでき (2)

目的その② 貿易による利益を、幕府が独占する

- 外国の商品は、国内で高く売れた。
→ 貿易をする人は多くの利益を得ることができた。
- 諸大名にかつてに貿易をさせれば、「経済力が強くなり、幕府にはむかう者が出てくるかもしれない」と考えた幕府は、貿易を禁じた。

そして、**長崎の出島**をただひとつの貿易港に決め、そこを直接治めて、オランダ・中国との貿易で得た利益をひとりじめにした。

● 鎖国の結果

- 幕府の力が強く、約200年間、国内の平和が続いた。
- 日本独自の産業や文化が発達した。
- 世界の科学・文化の発展からおくれてしまった。

武家諸法度

★ 幕府は、「^ぶ ^け ^{しよ} ^{はつ} ^と武家諸法度」によって、大名が守らなければならない定めを示した。

どんなきまりが定められていたのか。

たとえば……

- 学問と武芸のけいこにはげみなさい。
- 大名は、江戸での仕事をするために、1年ごとに^{さん} ^{きん}参勤しなさい。
- 新しく城を築いてはいけない。城を修理するときは、^{しよ} ^{とど} ^で届け出なければならない。
- 大名どうしで子どもを^{けっ} ^{こん}結婚させてはいけない。

★ 「大名は決められた方法に従って、^{さん} ^{きん}参勤交代をしなければならない」
というきまりは、3代将軍^{しよ} ^{ぐん}家光のときに加えられた。



参勤交代

★ ^{さん きん}参勤交代には多くの費用がかかる。

○ ^{か ご しま}鹿児島^{さつ ま はん}の薩摩藩から^{え ど}江戸までは、海路と陸路を合わせて1600km以上ある。ある年の大名行列は1240人で行われた。



★ 船を利用できるところは、^{かい どう}街道を歩くよりも船で行ったほうが便利である。しかし、その反面多くの船を準備しなければならない。

○ ^{かな ざ わ}金沢の^{え ど}前田氏^{さん きん}が江戸に参勤するには、^{か た み ち}片道13日間かかった。



★ 日数が多くかかれば、何度も宿にとまらなければならない。宿にとまるのはお金がかかることである。

○ ^{さ が}佐賀の^{な べ し ま は ん}鍋島藩の、ある年の支出の半分は、^{さん きん}参勤交代と^{え ど}江戸屋しきでの費用だった。



★ ^{さん きん}参勤交代などのために多くの支出があると、土木工事を行うなどして^{は ん}藩内を整備することが^{む ず か}難しくなる。

大名行列

諸国しょこくの大名は、幕府ばくふが定めた参勤交代さんきんこうたいの制度に従って、1年おきに江戸えどで生活するために、江戸えどと自分の領地とを往復した。

下の絵は、大名行列のようすをえがいたもので、大名の乗ったかごをはさんで、多くのけらいや、家財などを運ぶ人々の行列が続いてくる。



五街道

右の図は江戸時代の主要な道路（＝五街道）を示している。

5 東海道

江戸と京都を結ぶ、もっとも主要な街道。

3 中山道

今の長野県や岐阜県の山あいを通る。

1 奥州街道

江戸と東北地方を結ぶ。

2 日光街道

江戸と、徳川家康をまつる東照宮のある日光とを結ぶ。

4 甲州街道

江戸と甲府を結ぶ。



江戸時代の身分制度

★ 4つの身分を，身分の高いほうから順にならべると以下のようになる。

武士 → 農民 → 職人(町人) → 商人(町人)

農民は，幕府^{ばくふ}の財政と武士の生活を支える，年貢^{ねんぐ}を出す人々^だなので，高い身分におかれたが，生活は苦しかった。



慶安の御触書と農民のくらし

下の文は、1649年に3代将軍家光がだした、慶安の御触書という
きまりの一部である。

- 一．朝は早起きして草をかり，昼は田畑を耕し，夜はなわをない，たわらをあみ，ゆだんなく仕事にはげみなさい。
- 一．酒や茶を買って飲んではならない。
- 一．衣類は，あさ，もめんのほかは着てはならない。

幕府は，農民の日常生活のすみずみまできびしくとりしまり，農民に，生活できる最低限のところで生活させた。こうして，年貢を確実にとりたてようとした。

幕府は日常生活をとりしまる一方，次の図のような上下関係で農民を支配した。

農民のくらし

1 年貢^{ねんぐ}を確実に^{ばくふ}とろうとした幕府によってきびしくとりしまられた。

ア 慶安^{けいあん}の御触書^{おふれがき}(1649年)

朝早くから夜まで働くこと，あさやもめんの服を着ることなど，こまかく指示されている。

イ 五人組^{ごにんぐみ}

年貢をおさめることや犯罪に関して，共同で責任をとるしくみ。



2 農業生産が高まった。

ア 新しい道具の使用・・・備中ぐわ，千歯こき，千石どおし

イ 新しい作物^{さいばい}の栽培・・・なたね，綿，かぼちや，さつまいも，
たばこ，養蚕^{ようさん}

ウ 肥料の使用・・・ほしか（いわしなどをほしたものの），油かす

エ 新田開発・・・あれ地を開発したり，用水路をつくったりして，新しい耕地がふえた。